



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4506 URL http://www.ds-pharma.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子 (TEL) 06-6203-1407
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	284,515	5.7	34,652	6.0	34,333	4.9	19,158	13.6
25年3月期第3四半期	269,236	1.5	32,703	46.5	32,732	49.0	16,867	64.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 47,363百万円(202.1%) 25年3月期第3四半期 15,677百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	48.22	—
25年3月期第3四半期	42.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	658,191	402,703	61.2
25年3月期	607,219	349,248	57.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 402,703百万円 25年3月期 349,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
26年3月期	—	9.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	385,000	10.7	35,000	39.8	34,000	38.7	17,000	69.3	42.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は添付資料P.4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	397,900,154株	25年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	593,400株	25年3月期	590,246株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	397,308,312株	25年3月期3Q	397,310,981株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、平成26年1月31日 (金) に機関投資家・アナリスト向けに、第3四半期決算カンファレンスコールを開催する予定です。このカンファレンスコールで配布した資料等については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりであります。

売上高は、日本セグメントや海外その他セグメントでは前年同期に比べ減収となりましたが、円安が大きく影響した北米セグメント、中国セグメントにおいては増収となった結果、2,845億15百万円（前年同期比5.7%増）となりました。費用面では、人件費や減価償却費等が減少しましたが、ボストン・バイオメディカル・インク（以下「BBI社」）での開発が進捗したことや、円安の影響もあり研究開発費が増加しました。この結果、営業利益は346億52百万円（同6.0%増）、経常利益は343億33百万円（同4.9%増）となりました。四半期純利益は、投資有価証券売却益および条件付取得対価に係る公正価値の変動額を特別利益に計上した一方、仕掛研究開発等の減損損失および組織・業務改革に伴う事業構造改善費用を特別損失に計上したことにより、191億58百万円（同13.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 日本

長期収載品等の売上減少の影響がありましたが、高血圧症治療剤「アイミクス」が順調に売上を拡大したうえ、ビッグアナイド系経口血糖降下剤「メトグルコ」、パーキンソン病治療剤「トレリーフ」等が伸長し、営業本部取扱品目全体の売上は前年同期を上回りました。その一方で生産受託の一部終了や工業所有権収入の減少があり、売上高は1,325億31百万円（同3.2%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少に伴い492億77百万円（同5.7%減）となりました。

② 北米

短時間作用型β作動薬「ゾペネックス」の売上が独占販売期間の終了により大きく減少しましたが、非定型抗精神病薬「ラツォダ」が米国における双極Ⅰ型障害うつに対する適応追加の承認取得により売上をさらに拡大しました。加えて為替レートが円安となったため、売上高は1,063億2百万円（同20.7%増）となりました。利益面では、事業構造改善による人件費の削減や一部の特許権の減価償却終了等の減少要因を円安の影響が上回り販売費・一般管理費が増加しましたが、売上高の増加の影響が大きく、セグメント利益は281億28百万円（同122.3%増）となりました。

③ 中国

カルバペネム系抗生物質製剤「メロペン」の販売が引き続き堅調なうえ、円安の影響もあり、売上高は81億56百万円（同38.8%増）となりましたが、人件費や販売経費の増加および円安の影響により販売費・一般管理費が増加したため、セグメント利益は16億56百万円（同13.5%減）となりました。

④ 海外その他

「メロペン」の輸出の減少により、売上高は65億75百万円（同13.2%減）、セグメント利益は24億88百万円（同27.8%減）となりました。

上記報告セグメントの他に当社グループは、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の販売を行っており、それらの事業の売上高は309億49百万円（同0.6%増）、セグメント利益は20億48百万円（同13.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産については、在外子会社の現金及び預金、受取手形及び売掛金やのれん等無形固定資産が円安の影響もあり大きく増加しました。また、大阪研究所の新化学研究棟に係る有形固定資産が増加しました。この結果、総資産は前期末に比べ509億72百万円増加し、6,581億91百万円となりました。

負債については、未払金や長期借入金等が減少したため、前期末に比べ24億83百万円減少し、2,554億87百万円となりました。

純資産については、為替換算調整勘定が大きく増加したこと等により、前期末に比べ534億55百万円増加し、4,027億3百万円となりました。

なお、当四半期末の自己資本比率は61.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

北米セグメントのラツォダなどの売上が好調に推移していることから、売上高は前回予想に対し40億円増の3,850億円を見込んでおります。一方、北米セグメントでのさらなる売上伸長を目指し販売経費を増額することから、営業利益は前回予想どおりの350億円を予想しております。また、経常利益、当期純利益につきましても前回予想どおりを見込んでおります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後さまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,753	26,733
受取手形及び売掛金	97,182	106,606
有価証券	86,463	91,324
商品及び製品	45,357	45,788
仕掛品	3,570	3,415
原材料及び貯蔵品	13,762	13,181
繰延税金資産	30,097	27,652
短期貸付金	34,401	35,805
その他	3,958	4,780
貸倒引当金	△105	△107
流動資産合計	333,438	355,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	92,586	100,575
減価償却累計額及び減損損失累計額	△52,662	△54,852
建物及び構築物(純額)	39,923	45,722
機械装置及び運搬具	76,740	78,459
減価償却累計額及び減損損失累計額	△67,325	△68,500
機械装置及び運搬具(純額)	9,414	9,958
土地	10,277	10,348
建設仮勘定	5,799	1,765
その他	28,613	32,085
減価償却累計額及び減損損失累計額	△24,165	△25,326
その他(純額)	4,447	6,759
有形固定資産合計	69,862	74,554
無形固定資産		
のれん	71,293	83,754
特許権	17,383	7,915
仕掛研究開発	50,664	53,908
その他	6,968	14,639
無形固定資産合計	146,310	160,218
投資その他の資産		
投資有価証券	40,838	44,152
繰延税金資産	7,569	14,440
その他	9,246	9,688
貸倒引当金	△47	△42
投資その他の資産合計	57,607	68,239
固定資産合計	273,780	303,012
資産合計	607,219	658,191

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,253	13,002
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	2,115	4,498
賞与引当金	7,610	4,002
返品調整引当金	5,650	9,175
売上割戻引当金	19,153	26,654
未払金	34,771	25,529
その他	21,276	22,806
流動負債合計	124,831	125,668
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	35,000	27,500
繰延税金負債	14,494	16,585
退職給付引当金	11,030	11,154
その他	12,615	14,578
固定負債合計	133,139	129,818
負債合計	257,970	255,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	308,556	317,959
自己株式	△651	△655
株主資本合計	346,165	355,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,121	16,484
為替換算調整勘定	△11,038	30,655
その他の包括利益累計額合計	3,082	47,139
純資産合計	349,248	402,703
負債純資産合計	607,219	658,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	269,236	284,515
売上原価	76,382	78,130
売上総利益	192,854	206,385
返品調整引当金戻入額	7	16
差引売上総利益	192,861	206,401
販売費及び一般管理費		
給料	26,270	26,168
賞与引当金繰入額	2,703	2,973
研究開発費	39,948	48,971
その他	91,235	93,635
販売費及び一般管理費合計	160,158	171,749
営業利益	32,703	34,652
営業外収益		
受取利息	250	235
受取配当金	741	779
その他	1,281	705
営業外収益合計	2,273	1,720
営業外費用		
支払利息	816	763
寄付金	1,094	809
その他	333	467
営業外費用合計	2,244	2,039
経常利益	32,732	34,333
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,772
条件付取得対価に係る公正価値の変動額	—	1,068
特別利益合計	—	3,840
特別損失		
減損損失	414	4,601
事業構造改善費用	3,941	1,803
特別損失合計	4,356	6,404
税金等調整前四半期純利益	28,376	31,768
法人税等	11,508	12,610
少数株主損益調整前四半期純利益	16,867	19,158
四半期純利益	16,867	19,158

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,867	19,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	2,090
為替換算調整勘定	△1,211	26,114
その他の包括利益合計	△1,189	28,204
四半期包括利益	15,677	47,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,677	47,363
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	136,957	88,052	5,877	7,579	238,467	30,769	269,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	211	—	—	—	211	68	280
計	137,169	88,052	5,877	7,579	238,678	30,838	269,517
セグメント利益	52,249	12,651	1,915	3,447	70,263	2,371	72,635

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	70,263
「その他」の区分の利益	2,371
研究開発費(注)	△39,948
セグメント間取引消去	16
四半期連結損益計算書の営業利益	32,703

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した仕掛研究開発について回収可能性を評価し、414百万円を減損損失に計上しております。

また、米国子会社での組織・業務改革を進めたことに伴い、将来の収益性がないと判断した有形固定資産等について168百万円を計上し、特別損失の事業構造改善費用に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、エレベーション・ファーマシューティカルズ・インク(現サノビオン・レスピラトリー・ディベロップメント・インク)を買収し、完全子会社化したことにより、のれんが3,213百万円増加しております。なお、取得原価の資産配分が完了していないため、発生したのれんは暫定的な金額であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	医薬品事業						
	日本	北米	中国	海外 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	132,531	106,302	8,156	6,575	253,565	30,949	284,515
セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	—	—	—	74	53	128
計	132,605	106,302	8,156	6,575	253,640	31,003	284,643
セグメント利益	49,277	28,128	1,656	2,488	81,550	2,048	83,598

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品素材・食品添加物および化学製品材料、動物用医薬品、診断薬等の事業を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	81,550
「その他」の区分の利益	2,048
研究開発費(注)	△48,971
セグメント間取引消去	25
四半期連結損益計算書の営業利益	34,652

(注) 当社グループは、研究開発費をグローバルに管理しているため、セグメントに配分しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「北米」セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した有形固定資産および仕掛研究開発について回収可能性を評価し、それぞれ363百万円および4,237百万円を減損損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「北米」セグメントにおいて、BBI社の買収に関して条件付取得対価の追加支払が発生したことにより、のれんが2,408百万円増加しております。